



三蔵五訓

真理を探究し,道理を実践する。
豊かな品性を養い,不屈の魂を育てる。
生命を尊重し,自然を畏敬する。
個性を伸展し,紐帯性を培う。
未来を志向し,可能性に挑む。

2012.7.10 Vol. 133



平成23年度の就職状況と 新入生合宿オリエンテーション

卒業生の就職状況	1
充実した就職支援	2
新入生合宿オリエンテーション	3
研究活動	5
地域連携活動	6
学内トピックス	7
インフォメーション	9
学友会短信	10
国際交流瓦版	11
学内人事	12
財務状況	13
平成25年度 入学試験の概要	15

平成23年度の就職状況と就職支援

平成23年度に本学が受けた求人件数は8,956件で昨年度の7,432件を約1,500件上回りました。就職情報誌のWEB募集などを加えれば求人件数もかなり向上し、平成23年度の本学卒業生の就職率は93.0%を達成することができ、昨年度の91.1%を1.9%上回りました。中国・四国地区は91.7%という中で、卒業生が頑張った結果といえます。全国

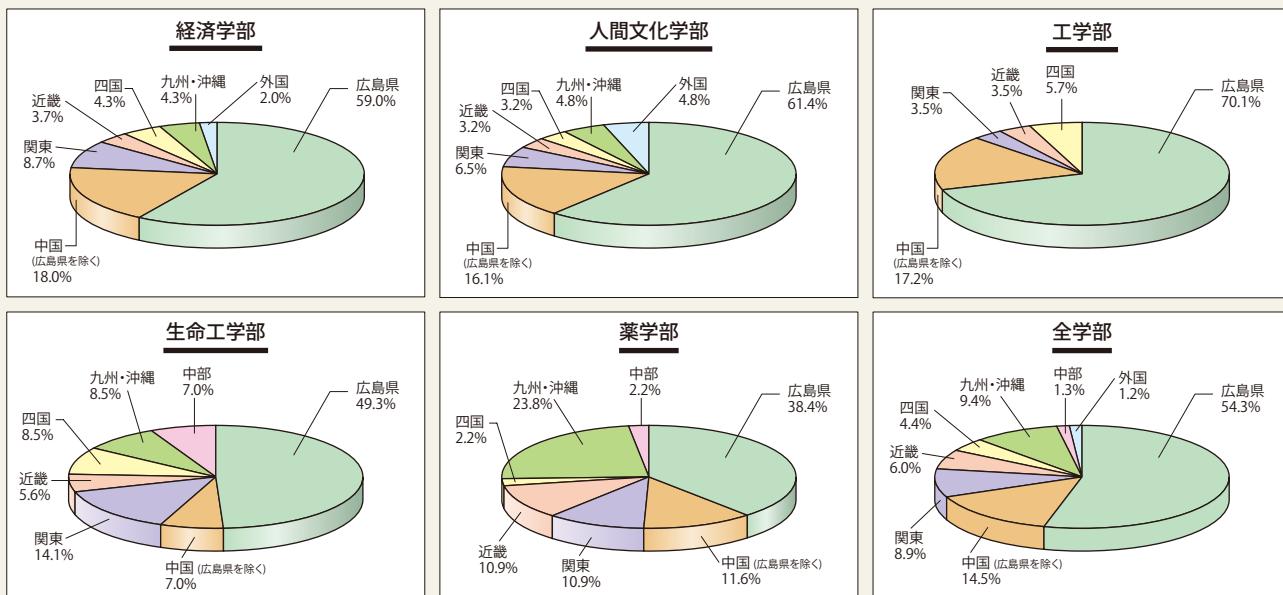
平均は93.6%(そのうち、私学は92.9%)となっていますが、厳しい就職状況が続く中国・四国の中にあって、ほぼ全国平均に近い就職率を達成することができました。このように、就職状況はかなり良くなっています。努力すればほとんどの学生が就職可能な状況になっています。

現在、就職委員を中心に今年就職した卒業生の就職先を優先的に企

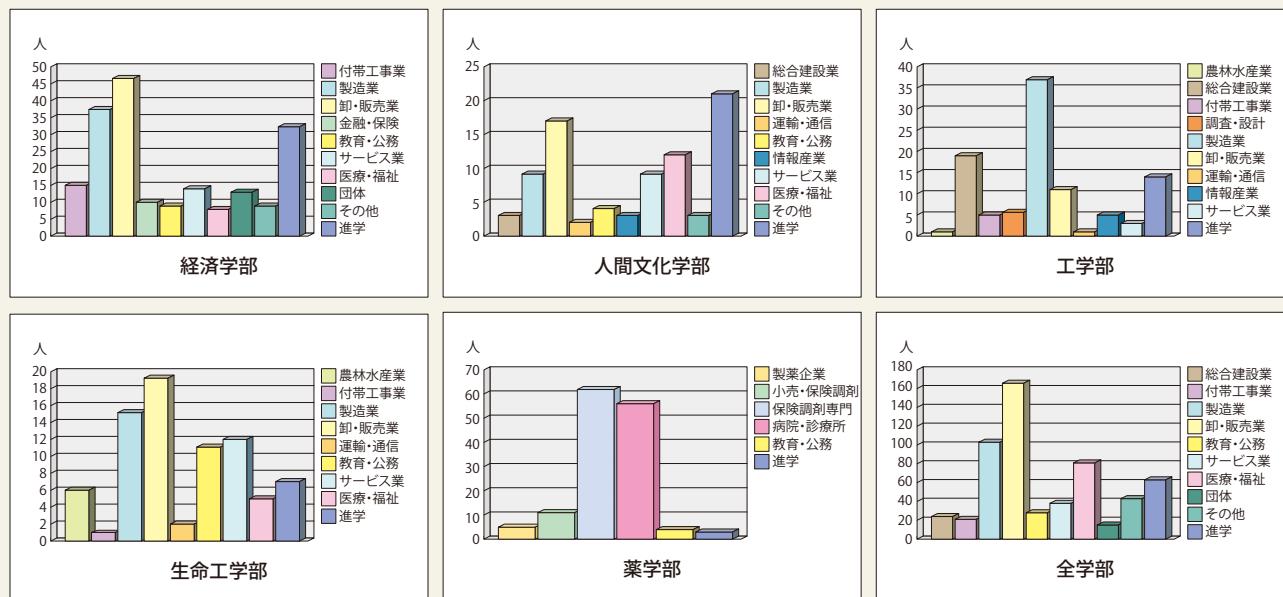
業訪問し、卒業生のフォローと新卒採用枠拡大のお願いをしています。また、学内での単独会社説明会を積極的に増やすなど大学を挙げて就職支援を強化しています。

平成23年度卒業生の各学部・全学部の地域別、業種別(大学院等への進学を含む)の進路状況は以下の通りです。

平成23年度 地域別進路状況



平成23年度 業種別進路状況



福山大学独自の就職支援の取組み

福山大学では学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるようゼミ担当教員による就職指導に加えて独自のプログラムによる就職支援を行っています。

今年度は学生ポータルシステム「ゼルコバ」にWEB就職システムが導入されました。今まで、求人票を就職課や各学科の就職情報コーナーで閲覧していましたが、パソコンを通じて学内ならどこでも大学に届く求人票を見たり自由に検索できるようになりました。また、自分が希望する企業や職種・業種等を登録しておけば、求人票が大学に届いたときに学生個人のメールアドレスに案内できる仕掛けができています。

ゼミ担当教員は、学生が登録している希望の業種・職種・企業名等を就職指導に活かし、指導方法や面談内容を登録したり、学生は就職活動の現況報告を登録することでゼミ担当教員との双方向のコミュニケーションを充実させることができます。これらは就職委員、就職課職員も閲覧や登録ができ、一人の学生に

対して各方面から一貫性のある就職支援を行うことができるようになりました。

そのほか次のような支援を行っています。

1.就職ガイダンス

第1回就職ガイダンス 5月

進路選択と就職活動について学ぶ

WEB就職システム「進路希望票」入力

第2回就職ガイダンス 5月

一般常識模擬テストの実施

第3回就職ガイダンス 7月

学外講師による一般常識テストのフォロー

アップ講座

第4回就職ガイダンス 7月

就職活動の進め方

第5回就職ガイダンス 10月

SPI2模擬テストの実施

第6回就職ガイダンス 11月

外部講師によるSPI2テストのフォローアップ

講座

第7回就職ガイダンス 11月

就職体験発表会

2.就職対策講座

(1)就職セミナー

(キャリアアドバイザーによる)6月・10月・11月

(2)新聞の読み方講座 6月

(3)履歴書・エントリーシートの書き方講座 1月

(4)グループ面接対策講座 3月

(5)グループディスカッション対策講座 4月

3.学内合同企業説明会

福山大学の学生のために県内外から優良企業等を招き説明会を開催

2月に全学部を対象として3回実施し、190社が参加

6月、12月に主に薬学部を対象とした説明会を開催し、28病院と73社が参加

4.単独企業説明会

福山大学の学生のために大学構内で個別の会社説明会を実施

5.保証人との就職懇談会

薬学部 4月

経済学部・人間文化学部 11月

工学部・生命工学部 12月

6.キャリアカウンセラーによる就活相談・面接訓練

外部講師(CDA資格保有者)が指導

7.ジョブソポーターによる就活相談

8.就職情報サイト運営会社が主催する合同企業説明会(広島市・岡山市)に貸切バスで参加。

広島県・岡山県内外の多くの学生が集まる合同企業説明会に貸切バスで参加し就活意識を高揚。

採用内定者のコメント



経済学科 4年
堀田 有梨江
内定先
株式会社広島銀行

私が就職活動を始めたのは3年生の12月からで、就活サイトから企業にエントリーをするとともに、合同企業説明会にも積極的に参加しました。私は、大学が支援している就職対策講座に参加したりして、将来自分がどのような仕事をしたいのか等を活動する前からすでに

に考えていました。しかし、就活をしていく中で本当にこれでいいのかと悩みました。そんな時、実際に働いている先輩とお話をさせていただく機会があり、不安なことを聞いたりしているうちに先輩と同じ会社で働きたいと強く思いました。インターネットや新聞などの情報以外にも、実際に社会に出て働かれている方のお話を直接聞くということも、将来の自分を想像するきっかけになると思います。

また自己分析や一般常識問題、SPI2の勉強にも取り組みました。一般常識問題とSPI2はなるべく早く取り組んだほうがいいと思います。また、就活をしているとどうしても疲れて

勉強が疎かになってしまいがちになりますので、少しづつでもいいので授業と就活の両立を習慣付けるといいと思います。

就職活動は思い通りにならないことがほとんどだと思います。どう行動していいのかわからなくなる時は、友達や家族、先生などに相談してください。また、私は就職課の職員さんによく相談にのってもらっていました。そうすることで自分がしたいことが明確になったと思います。就職活動において自己管理は必須です。体力的にも精神的にも大変なことだと思いますが、努力した結果は必ず形となるので最後まで諦めずに頑張ってください。



機械システム工学科 4年
上田 直人
内定先
JFEスチール株式会社

私は、3年生の冬から就活サイトを使って企業探しを始め、エントリーした企業の説明会や大学が主催する合同企業説明会に参加し、さまざまな企業のお話を伺いました。

数多くの会社説明会に参加して気づいた

事は、企業毎にそれぞれ異なる魅力があるということです。実は、私は就職活動を始めるまでやりたい仕事を見つけられずにいました。しかし、説明会に参加する度に企業・業界に関する知識や働く事に対する考え方方が深まり、「自分はこの企業でこの仕事をやりたい!」と、やりたい仕事を明確に見つけることができました。すると、自己PRや志望動機も内容の濃いものを書けるようになり、面接の場で色々な事を聞かれても、考え込むことなく素直な意見を言えるようになりました。

やりたい事がある人もない人も視野を広げてさまざまな企業の説明会に参加し、その企業で働くイメージを膨らませてみてください。おのずとやりたい事が見えるはずです。時間・お金・労力を惜しまず、飛び回ってください。

就職活動は辛くて苦いですが、努力した分は自分に返ってきます。辛い時は家族や友人や先生を頼りながら、最後は自分を信じて頑張って下さい。



薬学部薬学科 6年
田村 翔也
内定先
塩野義製薬株式会社

私は最初から製薬会社のMR職にしぶって就職活動を始め、企業規模に拘らず多くの企業にエントリーしました。また、職種研究としてMR職に対する理解を深めるために5年次の実務実習で出会ったMRの方からお話を聞く

機会をいただいたりもしましたし、2月からは製薬企業の合同説明会や単独の企業説明会にも足を運び、企業研究を重ねました。同じ時期に自己分析や一般常識問題にも取り組みました。

面接では、着飾った言葉より下手でも良いので自分の熱い思いを乗せた言葉で伝えることが何よりも大切だと思いました。そして、「企業側が一緒に働きたいと思う学生ってどんな人か?」など自分からの目線だけでなく、面接官の立場で考えることで、自分が相手にとって

どううつっているのか?どう魅せたらより良いのか?なども考えて臨みました。

また、大学内外でできた就活仲間はとても大切な存在で、同じ職を志望する仲間と話をすることは刺激になりました。内定先は違えど、今でもお互いに連絡を取り合い、来年からの入社へのモチベーションを高めています。

就職活動は自分自身を成長させてくれる貴重な機会であり、自分にとって本当に大切な方に気付くことができます。会社との一期一会を大切に頑張ってください。応援しております。

新入生合宿オリエンテーション

スタートが大事

僕たち経済学部は、4月5日(木)、6日(金)にみろくの里へ行きました。入学してすぐにこの研修があって、楽しみというよりは友達ができるのかという不安の方が大きかったです。

部屋は6人部屋で、僕らの部屋には、個性豊かな人たちが集まっていました。お互い自己紹介をしたり、話をしたりしていると、すぐに打ち解けることができました。それから一緒に夕食を食べたり、お風呂に入ったりして、少しずつだけど仲を深めることができました。

夜には学生リーダーの方たちが時間割作成のことについて、丁寧に教えてく



ださいました。他にも学生生活のことなどいろいろな話を聞くことができたので良かったです。

次の日は、ソフト・サッカー・オリエンテーリングに分かれて活動をしました。僕はオリエンテーリングを選択して、友達や留学生の方たちと登山を楽しみました。こういった研修を通して、楽しく友

達の輪を広げることができました。

二日間の研修を通して友達の輪も広がり、大学のことも知ることができます。最後にお世話を下さった方々、どうもありがとうございました。

経済学部 1年 森川 一平

新しい大学生活の第一歩

4月5日(木)・6日(金)の2日間、新しい大学生活に慣れるために新入生のオリエンテーションが行われました。



私たち人間文化学部のオリエンテーションは、尾道ふれあいの里で実施されました。留学生の私は、日本語も上手ではなく、日本人の友達と知り合うこともなかったので、とても不安でした。しかし、先生や先輩方、クラスメート達は、分からぬところを説明してくれたり、親切に接してくれたため、不安はすぐに消えました。また、色々なゲームを通じてグループ全員で協力し合い本当に楽しかったです。そのおかげで、グループ全員良い友達になりました。私にとって、それは大学生活の第1

歩となるとても大切な経験になりました。

私は心理学を学ぶことが夢でした。それが、今、大学に入学してようやく叶いました。これから色々な困難もあると思いますが、今回のオリエンテーションを通じて、どんな困難も克服できる自信がつきました。両親や親戚、助けてくれる友人、また、自分の夢を叶えるために、私は、心理学に関する知識を学び、将来は心理の専門家になろうと思っています。今からあきらめず努力を続ければ新しい人生は絶対に切り開けると信じています。

心理学科 1年 李 園

新たなスタート

私たち情報工学科は、合宿オリエンテーションで「みろくの里」に行きました。入学してから数日後だったのですぐに慣れるかどうか、また女性が少ないこともありその人たちと仲良くなれるかどうか不安でした。

合宿オリエンテーションの1日目は、自己紹介・グループディスカッションを行いました。自己紹介では、自分の名前と趣味、自分を動物に例えるなら何?などを発表し、興味が湧いたことには質問して聞くなど、皆で盛り上がりました。その後、「お題を当てましょう～前の人人が何を描いたか伝言連想ゲーム～」と「漢字をいくつ書けますかゲーム」などが行わ



れ、皆と楽しい時間を過ごして仲良くなることができました。その後、与えられたテーマについて、4つのグループに分かれて、グループディスカッションを皆で協力しあいながら楽しく行いました。

2日目は沼隈体育館で、電子・ロボット学科と一緒にドッジボールを行いました。6つのグループに分かれ、リーグ戦の優

勝を目指しました。私がいたグループは、女性が4人と男性が3人だけというグループだったため、暗黙の了解で「女性には優しく、男性には問答無用」になり、有利なドッジボールの試合になっていました。他の学科との交流もあったので、とても楽しくできました。

オリエンテーションによって、男性だけじゃなく女性とも仲良くできとても安心しました。これから約4年間、情報工学科の人たちと授業や行事などで過ごすので、協力しあい頑張っていこうと思います。合宿でお世話になった先生方や学生リーダーの先輩方がありがとうございました。そして、これかもよろしくお願いします。

情報工学科 1年 中井 美穂

仲間と共に、充実した大学生活を

私たち生命栄養科学科の新入生は、岡山県にある川崎医科大学現代医学教育博物館と宿泊先のくらしき山陽ハイツに行きました。入学してすぐの合宿だったため、楽しみよりも不安の方が大きかったのを覚えています。しかし、合宿を通してその不安はこれから始まる大学生活への期待へと変わりました。

宿泊先では、自己紹介やレクリエーションを通して一人また一人と友達を作ることができました。一日目のレクリエーションではクイズや絵で伝言ゲームをするなど、人数が多い分とても楽しめました。二日目のレクリエーションではグループに別れてソフトバレーボールをしました。まだ一度も話していないかった友達とも関わることができ、あっという間に過ぎ

た時間でした。また、授業の時間割作成では夜遅くまで先生方や先輩方に指導して頂き、完成させることができました。先輩のお話を伺っていると、覚悟していた以上に管理栄養士になるための道は大変だと感じ、先輩の「大丈夫」の言葉を胸に根気強く勉学に励もうと強く思いました。

私たちが楽しむことのできた二日間のために先生方、先輩方が時間を割いてさまざまな準備や計画をして下さったお蔭で、大学生活の良き思い出を築く中での



貴重な二日間となりました。この合宿で得たものは、四年間共に頑張る大切な仲間たち、そして自分の行動への責任と他人の行動に感謝の気持ちを忘れないという姿勢です。四年後、管理栄養士になる夢が叶うよう、そして福山大学の名に恥じない社会人になれるよう、充実した大学生活を送りたいと思います。

生命栄養科学科 1年 成戸 志帆

仲良くなるきっかけになりました



薬学部では新入生合宿オリエンテーションセミナーで福山ふれあいランドに行きました。到着してスポーツをする予

定でしたが、あいにくの雨で中止になりました。なので、クラス別セミナーを先にしました。与えられた課題に対して一人一文字ずつ文字を書いて物語を作りました。喋ることは禁止だったので書いてほしいことが伝わらず、とてもおかしな文章ができました。いっぱい笑って、同じグループの人と仲良くなれるセミナーでした。

夕食後は自由時間でした。体育館でバドミントンやバスケットボールをしたり、

部屋で友達と喋ったりしました。違うクラスの人と話すきっかけになったのでよかったです。二日目は晴れだったので、一日目にできなかったスポーツをしました。ここでもスポーツを通して、他のクラスの人と仲良くなりました。

入学してすぐの合宿だったのでまだ友達もおらずとても不安でしたが、この合宿を通していろいろな人と話ができる、仲良くなることができました。これから六年間は長いですが、新しい仲間と頑張っていきたいです。

薬学科 1年 美藤 花奈



研究活動

平成24年度 教員表彰について

平成24年度教員表彰について、平成24年6月20日(水)全学教授会開催前に4名の教員が表彰されました。

この教員表彰は、福山大学教員表彰細則に基づき表彰されるもので、今回は教育学術関係団体から功績が顕著であ

工学部	建築・建設学科	客員教授	南 宏一
生命工学部	生物工学科	教 授	藤 田 泰太郎
生命工学部	生物工学科	准教授	広 岡 和 丈
薬学部	薬学科	教 授	吉 富 博 則



ると認められ、本学の教育研究の充実発展に大きく貢献された方に、松田学長から表彰状と記念品が授与されました。



平成24年度科学研究費補助金

★研究種目
◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★基盤研究B

◎位藤 邦生 人間文化学部 教授
学びのプロセスと日本語書記史を統合する学習材の開発と検証 (100万円)
◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授
枯草菌緊縛制御ネットワークの全貌の解明とその応用 (290万円)

★基盤研究C

◎田中 久男 人間文化学部 教授
アメリカ文学における人種と地域から見た階級表象の領域横断的研究 (90万円)
◎渕上 優子 生命工学部 教授
加熱・高圧・乾燥処理による野菜・果実の物性変化とペクチン質の関係 (80万円)
◎梅田 真三郎 工学部 教授
菱形角柱群流路からの新しい混相噴流現象の可視化に関する基礎的研究 (70万円)

★若手研究B

◎広岡 和丈 生命工学部 准教授
枯草菌における植物由来芳香族化合物に応答した複合的遺伝子発現制御の解析 (90万円)

★研究成果公開促進費(学術図書)

◎水上 優 工学部 准教授
フランク・ロイド・ライトの建築思想 (60万円)

平成24年度科学研究費補助事業 (学術研究助成基金助成金)

★研究種目
◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★基盤研究B

◎位藤 邦生 人間文化学部 教授
学びのプロセスと日本語書記史を統合する学習材の開発と検証 (190万円)

★基盤研究C

◎木村 安美 生命工学部 教授
高齢買い物弱者と低栄養との関連の検討に基づく食教育とその評価 (210万円)
◎三川 敦 経済学部 准教授
公表情報が証券市場における投資家の意思決定に与える影響－社会責任情報を中心に－ (160万円)
◎井上 達雄 構造・材料開発研究センター
客員研究員
化学量論に基づく浸炭・窒化過程の化合物析出と力学場解析およびその変態・熱・力学 (290万円)

◎日比野 例 薬学部 教授

マイクロ波照射アザ電子環状反応を活用する縮合複素環天然物の全合成と医薬素材探索 (150万円)

◎磯貝 淳一 人間文化学部 准教授
平安鎌倉時代における仏教漢文書記史の研究 (50万円)

◎桑原 哲也 経済学部 教授

高度成長期の外資系企業の経営史的研究 (90万円)

◎平 伸二 人間文化学部 教授

事象関連電位による虚偽検出における新たな多重プローブ法の確立 (100万円)

◎堤 俊彦 人間文化学部 教授
レアシンドローム児と家族への包括的・継続的な心理的支援の確立に向けての基礎研究 (50万円)

◎日野 恵美子 経済学部 講師
役員人事と戦略 戦後日本の低迷、暴走、独走企業の分析 (50万円)

★挑戦的萌芽研究

◎山本 覚 生命工学部 教授
ボディウェイト・コントロール中の脂肪酸代謝 (140万円)
◎太田 雅也 生命工学部 教授
植物のフィトレメディエーション機構解明と実用化に向けた取り組み (200万円)

★若手研究B

◎栗田 寛子 生命工学部 助手
高圧力・加熱処理により調製した柑橘マーマレードの品質比較 (140万円)
◎村上 泰子 生命工学部 講師
非アルコール性脂肪肝炎の栄養療法を目指したn-3系脂質代謝に及ぼす影響 (110万円)

◎中東 潤 工学部 講師

水素処理による微細粒チタン合金の超塑性加工法による歯科補綴物の試作と評価 (60万円)

◎渡辺 伸一 生命工学部 講師

絶滅危惧種カブトガニをキーストーン種とした沿岸生態系の保全 (120万円)

◎引野 亨輔 人間文化学部 准教授

近世仏教教団における献上儀礼の基礎的研究 (90万円)

◎樋町 美華 人間文化学部 講師

成人型アトピー性皮膚炎患者に対する心理的アプローチプログラムの開発 (60万円)

地域連携活動

府中産業メッセ2012で工作教室と体組成チェック

平成24年5月26日(土), 27日(日)に開催された「府中産業メッセ2012」(場所:府中市立総合体育館(ウッドアリーナ)において、主催の府中商工会議所から要請を受けた福山大学の3学科(電子・ロボット工学科, 機械システム工学科と生命栄養科学科)が、参加型展示を行いました。今年は天候に恵まれ、全体で35,000人の来場者がありました。



「チョロビー」工作教室

電子・ロボット工学科では、学生の企画・運営によるミニロボット「チョロビー」工作教室を目玉に、福山大学が協力しているE.Tロボコンの紹介や、学生が製作したレスキュー・ロボット(モデル機)や相撲ロボットの操縦体験などを行いました。それぞれで、学生、教員が見学者・参

加者の対応に追われ、特に、工作教室は、製作所用時間30分間、有料にもかかわらず、両日とも常に参加者がいっぱい。お孫さんが教員に教えられながら工作している様子をおじいさんがじっと座つて見ておられました。



プロペラカーの制作教室

機械システム工学科では、モーターを動力としたプロペラカーの製作教室(有料)、プラ板キー・ホルダー(無料)を実施するとともに、学科の実習成果や、電気自動車(府中E.Vレース)のパネル展示を行いました。そんな中、お孫さんの進路の悩みを持たれた女性が、担当の先生の事例を挙げた具体的な解決策を聞いて、今日は本当に来てよかったですと言つて帰つて行かれました。

生命栄養科学科では、体組成計による身体部位別の筋肉、脂肪量などの測定による健康チェックを行いました。検診者313名。常連の検診者が、「今年もやっているかと思ってとにかくきました」と異口同音に満足げに言っておられました。その光景に会場ステージの司会者も興味を示し、担当の学生にステージで、今回の健康チェックと学科の一般向け行事まで紹介させてくれました。

また、大学の航空写真と組織を展示するとともに、大学要覧や各学部の業績資料も配布しました。

3学科とも3年続けての参加となりました。皆さんの満足が收穫です。

生命栄養科学科 教授 山本 英二



体組成測定と説明の風景

平成24年度 食と健康のライフサイエンス(3回シリーズ)

表題の市民フォーラムも5年目となりました。運営を担当する生命栄養科学科は今春、はじめての卒業生を輩出しました。ライフサイエンスをベースに食品に強い管理栄養士として、公務員、福祉施設、委託給食、食品企業、病院、保育所、ドラッグストアと多方面で活躍し始めました。そこで、福山市保健所や教育委員会、栄養士会、全国栄養士養成施設協会、食品企業など関係機関とさらに協力しながら食を通じて健康な生活を維持、向上させるために貢献したいと考えています。この市民フォーラムは、その一環です。学生の社会参加の機会とも考えています。

第1回は、6月30日(土)、宮地茂記念館で開催し、参加者は、栄養関係や食品企業の方を含む170名でした。

本学の石井准教授は、高齢になると体脂肪以外の組織の割合(LBM)が徐々に減少するとともに、日常生活動作(ADL)、日常食事動作(ADE)に障害が起こつくることから話を始めました。しかし、口から栄養成分をとることは体の機能だけでなく精神機能にも影響を与える重要なことです。食物の種類や形態をどのように工夫して、心地よい食

感を保ちながら口からの栄養摂取をつづけるか、事例を挙げて解説しました。

川崎医療福祉大学の脇本講師は、要介護や生活習慣病を予防するために運動の果たす役割を挙げ、筋力と柔軟性のアップが重要であると述べました。また、運動を継続して行うためには、仲間と一緒に、目標を決めて、行動の記録をとりながら行うのがこつと提言しました。実際に運動を体験することもでき好評でした。



+++++ 平成24年度 +++++
第1回 6月30日(土) 14:00~16:00,
定員100名、170名参加、宮地茂記念館
【高齢期を支える食と運動】
①「高齢期においしく食べるヒント」
(生命栄養科学科 石井 香代子准教授)
②「熟年からの転ばぬ先の運動」

(川崎医療福祉大学 健康体育学科
脇本 敏裕講師(健康運動指導士))

第2回 8月4日(土) 14:00~16:00,
定員100名、宮地茂記念館
【若い女性の栄養と健康】
①「健やか美人への食生活ポイント」
(生命栄養科学科 石崎 由美子准教授)
②「からだと心を考える」

(川崎医療福祉大学 医療福祉学科
笹野 友寿教授(医師))

第3回 11月17日(土) 9:30~12:30,
定員40名、(すでに満席キャンセル待ち)
福山大学(松永)

【家庭でもできる本格スイーツのコツ】
①「パイの調理科学

「おいしいパイ作りに挑戦」
(生命栄養科学科 渕上 倫子教授)

②平成24年度市民フォーラム
「食と健康のライフサイエンス」修了式

生命栄養科学科 教授 山本 英二



第12回福山大学生命工学部公開授業スタート!

今年で12年目を迎える福山大学生命工学部公開授業が、福山バイオビジネス交流会との共催で今年も始まりました。この催しは、備後地域を中心に企業・一般・高校生の皆様に、バイオテクノロジーの最新技術や生命の不思議などをわかりやすく紹介しようという意図から始まりました。昨年は、東日本大震災という未曾有の大災害が起り、日本人にとって大変な年でしたが、それがかえって命の大切さ、人生のすばらしさを再確認するきっかけともなりました。そこで今年は、大災害からの復活・再生を願い、「生きるってすばらしい」というサブテーマで行うことにしました。6月～7月の2ヶ月にわたって、2題ずつの講演を3回、実験参加型の公開実験を1回行う予定で、すでに第1回目の講義を盛況の内に終えることができました。

第1回は、6月16日(土)に備後地域地場産業振興センターで、生物工学科山口泰典教授による「生命のミクロ宇宙」と同学科岩本博行教授による「エネルギーってどうしてこんなに必要なの?～ヒトと進化と食とエネルギーのお話～」と題した講演が行われました。山口先生の講演は、顕微鏡画像を自在に駆使して、

生命のもととなる細胞の知られざる姿をわかりやすく解説され、聴講者にも大変好評でした。一方、岩本先生は、料理がヒトを進化させたという非常に興味深い学説について解説され、その独特的語り口も加わり、講義を受けた皆さんもかなり熱心に聞き入っていました。参加人数も30名を超え、質問も制限時間いっぱいまで続き盛況でした。

第2回は、6月30日(土)に福山大学宮地茂記念館で、生命栄養科学科の石井香代子准教授による「高齢期を支える食と運動～高齢期においしく食べるヒント～」、川崎医療福祉大学健康体育学科の脇本敏裕講師による「高齢期を支える食と運動～熟年からの転ばぬ先の運動～」の2講演が行われ、現代人が避けて通れない高齢化問題について、如何に楽しく高齢期を過ごすかに関する役立つ情報について講演しました。

第3回は、7月21日(土)備後地域地場産業振興センターで、海洋生物科学科河原栄二郎教授による「魚の不思議」、同学科三輪泰彦教授による「暮らしおと海藻」の2講演が行われます。魚や海藻の知られざる生態や、海の生き物が我々人間の生きることに、如何に関わっている



のか、興味深いお話しをしていただけると思います。

第4回は7月28日(土)に本学で公開実験を行います。今年度も一般・高校生向けに、人気の高いチョコレート作りをはじめとして5テーマ、小学生を対象としたキッズメニューも、「海藻押し葉をつくろう」など5テーマ用意しています。またこの事業は、福山バイオビジネス交流会を通じて、科学技術振興機構の平成24年度科学技術コミュニケーションセンター推進事業活動実施支援により実施します。さらにキッズ向けの公開実験は、公益財団法人マツダ財団の第28回マツダ事業助成に採択され、その支援を受けています。

7月もまだ2回ありますので、興味のある方は是非ご来場ください。参加費はすべて無料です。

海洋生物科学科 教授 高村 克美

平成24年度 病院・保険薬局実務実習白衣授与式

4月28日(土)に病院・保険薬局実務実習白衣授与式が開催されました。白衣授与式は、病院と保険調剤薬局で合計5ヶ月間の臨床実務実習に赴く学生たちが、「一般人」から「医療人」となることを誓う象徴的な行事として平成22年から開催しており、今年度で3回目になります。白衣授与式には、学長、副学長、薬学部教員、薬学部学生、および5年生の保護者が参列しました。

式では、管弦楽団による「福山大学の歌」の演奏の後、薬学共用試験に合格したことを証明する「薬学共用試験基準点到達証明書」が5年生の代表に伝達されました。これに続き、研究室の主宰教員から5年生一人ひとりに薬学部のシンボルマークが刺繡された白衣が手渡されました。着替えのために一旦退場した5年生が白衣を着用して入場てくると、場内から暖かい拍手がわき起きました。

真新しい白衣に身を包んで整列した5年生に対して、松田文子学長ならびに吉富博則薬学部長から、福山大学学生としての誇りを胸に頑張ってほしいという励ましの言葉や、これまで学んできたことを十分発揮して欲しいという期待の言葉が述べられました。これに対して、5年生の代表が、医療人としての知識や技能だけでなく、態度も修得してくるつもりであるという決意を述べ、白衣授与式は終了しました。

薬学科 教授 田村 豊



本学では、開学以来毎年、教育懇談会を開催しています。

この「教育懇談会」では、保証人の皆様に本学の教育理念及び指導方針、学生生活や就職についての説明を行う全体説明と、ご子女の学業成績及び履修・出席状況などの説明や保証人の皆様のあらゆるご相談・ご質問に応じる個別懇談を行っています。

また、福山大学会場では、保証人の皆様を対象に就職講演会を実施する予定です。

今年度は、右表のとおり開催いたしますので、是非、この機会にご参加いただければ幸いです。

なお、詳細は、7月中旬に送付いたします「教育懇談会の開催について(ご案内)」

をご覧のうえ、同封の返信用はがきにてご出欠をお知らせください。

開催日程	開催地	会場名	対象学部	開催日程	開催地	会場名	対象学部
8月18日(土)	大阪	大阪ガーデンパレス	全学部	9月2日(日)	高知	高知共済会館コミュニティスクエア	全学部
8月18日(土)	高松	高松東急イン	全学部	9月2日(日)	名古屋	名古屋ガーデンパレス	全学部
8月19日(日)	姫路	姫路キャスルホテル	全学部				
8月19日(日)	山口	山口グランドホテル	全学部				
8月25日(土)	岡山	まきび会館	全学部				
8月25日(土)	鳥取	白兎会館	全学部				
8月25日(土)	福岡	福岡ガーデンパレス	全学部				
8月26日(日)	松江	松江東急イン	全学部				
8月26日(日)	鹿児島	ブルーウェーブイン鹿児島	全学部				
9月1日(土)	広島	広島ガーデンパレス	全学部				
9月1日(土)	松山	ホテルサンルート松山	全学部				

開催日程	開催地	会場名	対象学部
9月8日(土)	福山	福山大学	経済(1・3年次生), 工, 薬(学生番号:偶数)
9月9日(日)	福山	福山大学	経済(2・4年次生), 人間文化, 生命工, 薬(学生番号:奇数)

山崎製パンと学生のコラボパン企画始まる

福山大学の産学連携活動の一環として、本生命栄養科学科の学生9名が、山崎製パンとのコラボパン企画に参加しています。これは、広島県の4つの大学(福山大学、広島女学院大、文教女子大、山陽女子短大)がそれぞれ学生の新鮮なアイデアで山崎製パンとのコラボパンを製造し、10月27日(土)・28日(日)の広島フードフェスティバルで同時発売するという企画です。この企画は、「広島を元気にする」というテーマを掲げてRCC中国放送の「イマなま3チャンネル」で継続的に取り上げられます。

学生にとっては、メディアに取り上げられるだけでなく、ものづくりの最初から最後まで(アイデア、製品開発、包装・表示、販売)を体験することができ、元気になる企画だと思います。

日程は、右の通りです。現在、RCC中国放送への生出演でパンのアイデアの一つを各大学が紹介したところです。パンの試作、試食、パッケージ作成と続くかなりハードな日程ですが、10月末から年末の販売時には、是非、大学のロゴマークと15号館の時計台の写真を目印に福山



イマなま3チャンネルに結集した参加校

大学のパンを皆さんに食べていただいて、大学も元気になつたら良いなと願っています。

日程

- 6月2日: 山崎製パン広島工場見学
- 6月15日: 学生打合せを映像記録
- 6月22日: 作りたいパンを提案3,4品
- 6月28日: RCC中国放送に学生が生出演、企画発表
- 6月中旬~7月上旬: 製品開発; 学生の提案



山崎製パン工場見学での集合写真



アイデアをフリップにして説明する様子

をもとに企業で試作し、皆で試食しては、試作を繰り返す。

7月中旬: 最終試食。製品決定。
7月中旬~8月上旬: パッケージデザインの検討

8月中旬: パッケージデザインの決定
9月~10月上旬: 成分表示、カロリー表示の認可申請。発売前の宣伝: 「イマなま3チャンネル(RCC中国放送)へ学生が出演、CM撮影など
10月27, 28日: フードフェスティバルで先行発売。
10月29日から山崎製パン取扱店にて発売開始。12月31日まで発売予定。

なお、この企画は、RCC中国放送と連携してメディア情報文化学科の学生も取材をし、その風景は、最初の放送でRCC中国放送に取り上げてもらいました。

生命栄養科学科 教授 山本 英二



平成24年度 福山大学学生表彰

平成24年6月12日(火)大学会館にて平成24年度福山大学学生表彰式が行われました。

今回は、学業部門27名、文化部門1名が表彰(奨励賞)されました。受賞者は、次のとおりです。表彰式では、松田学長からの挨拶に統いて、受賞者を代表して薬学部薬学科4年鶴田朗人さんが、受賞の喜びと御礼の言葉を述べられました。

受賞された皆さん、おめでとうございます。

奨励賞

【学業部門】

学 部	学 科	学 年	氏 名
経済学部	国際経済学科	2年	長谷川朋美
人間文化学部	人間文化学科	2年	和田 彩加
人間文化学部	心理学科	2年	藏本 真衣
人間文化学部	メディア情報文化学科	2年	中根 優輝
工学部	電子・ロボット工学科	2年	小田 隆太
工学部	建築・建設学科	2年	守安 正裕
工学部	情報工学科	2年	山足 亮介
生命工学部	生物工学科	2年	中山 育弥
生命工学部	生命栄養科学科	2年	有木 祥子
生命工学部	海洋生物科学科	2年	山内 大希
薬学部	薬学科	2年	横山 えみ
経済学部	経済学科	3年	平林 和将
経済学部	国際経済学科	3年	則頭真紀子
経済学部	税務会計学科	3年	片岡 和也

人間文化学部	人間文化学科	3年	佐藤加奈子
人間文化学部	心理学科	3年	谷 尚美
人間文化学部	メディア情報文化学科	3年	新舎 知美
工学部	電子・ロボット工学科	3年	藤井 昌也
工学部	建築・建設学科	3年	今井 文章
工学部	情報工学科	3年	藤原 大生
工学部	機械システム工学科	3年	平川 泰基
生命工学部	生物工学科	3年	原 裕治
生命工学部	生命栄養科学科	3年	久保田結香
生命工学部	海洋生物科学科	3年	内海 敬絵
薬学部	薬学科	3年	藤脇 孝哉
薬学部	薬学科	4年	鶴田 朗人
薬学部	薬学科	5年	菊本 祐大

【文化部門】	学 部	学 年	氏 名
	経済学部	1年	塙飽 昌宏

第5回「友だちにすすめたい本」コンクール

人間文化学部 人間文化学科

人間文化学科が平成20年より開催している「友だちにすすめたい本」コンクールも今年で5回目を迎えます。

近隣の高校を始めとして中部地方の高校からも応募があり、また年ごとに応募者数も増加しつつあり着実にこの企画が根付いてきているようです。これも応援して頂いている高校の先生方のご協力があればこそで、この場を借りて感謝の意を表すとともに、さらなるご支援をよろしくお願い致します。

今年も高校生の皆さんからの、友だちがぜひその本を手にとって読みたくなるような熱い感動を伝えてくれる力作を期待していますので、奮ってご応募ください。

人間文化学科 教授 西田 正



平成23年12月に行われた第4回「友だちにすすめたい本」コンクール表彰式

コンクールの概要

本の対象：小説、エッセイ、童話、詩など、ジャンルを問いません。

応募資格 高校生

応募方法 所定の用紙に500字以内

審査員 松田文子(本学学長、審査員長)、皿海達哉(児童文学者、ふくやま文学館館長)、

光原百合(作家、尾道大学准教授)他、本学教員

表彰 個人賞 最優秀賞 1篇 賞状・副賞(図書カード1万円分)

優秀賞 4篇 賞状・副賞(図書カード5千円分)

佳作賞 20篇 賞状・副賞(図書カード2千円分)

学校別審査員賞 各校3篇 賞状

※30篇以上の応募があった学校が対象

団体賞 学校賞2校 賞状・トロフィー

発表 在籍校を通じて本人あてに通知し、

平成25年1月26日(土)(予定)本学にて表彰式を行う。

入賞作品は冊子にして3月下旬に出版します。

応募期間 平成24年5月28日(月)から

9月15日(土)まで(消印有効)

応募先 〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学 人間文化学部 人間文化学科

「友だちにすすめたい本」コンクール係

詳しくはウェブサイトをご覧下さい。

<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/hc/>

お問い合わせは 人間文化学部事務室 ☎084-936-2111(内線2222)

もしくは、tnisida@fuhc.fukuyama-u.ac.jp人間文化学科教授西田正まで



第7回(2012年度)高校生CMコンテスト作品募集中 人間文化学部 メディア情報文化学科

メディア情報文化学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第7回高校生CMコンテスト」を開催します。

今年のテーマは「あなたの『まち』を、全国にアピールしよう!」です。地域の魅力で人を惹きつけ、そのまちに行きたくなるようなCMの応募をお待ちしています。

ビデオで撮影・編集した作品を応募する「映像作品の部」は、授業や部活などにおける表現活動の成果を示す好機になるかもしれません。絵コンテに企画をまとめる「企画コンテストの部」や、地域の魅力を短いフレーズに凝縮する「広告コピーの部」は、映像制作の設備を持つ

ていない学校でも、気軽に参加できる部門です。

昨年度は「映像作品の部」に91作品、「企画コンテストの部」に142作品、「広告コピーの部」に34作品の応募をいただきました。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fukuyama-media.jp/>

学科のブログでも、コンテストに関する情報を随時発信していきます。

審査には、藤森益弘氏(株式会社サン・アド、本学客員教授)をはじめ、プロのCMクリエーターをお招きします。そして三蔵祭の期間中には、受賞作品の上映・展示と表彰を予定していますので、どうぞご期待ください。



第6回(2011年度)高校生CMコンテスト授賞式の様子

お問い合わせは、人間文化学部事務室 ☎084-936-2112(内線2223)もしくは、info@fukuyama-media.jpまで。

メディア情報文化学科 助教 阿部 純

第2回高校生アイデアどんぶり選手権

生命工学部 生命栄養科学科

生命栄養科学科では、「第2回 高校生アイデアどんぶり選手権」を開催致します。高校生を対象に、食と健康に関心を持ち、自分たちの住んでいる地域のさまざまな食材を使って料理作りをすることを応援します。

第一次審査はレシピと写真による書類審査、第二次審査は実技審査です。7月25日(水)に生命栄養科学科の調理実習室において決勝大会に勝ち残った8人がアイデアどんぶりと副菜、汁物、デザートなどの計2品を調理し、優秀作品を決定します。昨年は、最優秀賞に「かきあげ丼」「タコのしんじょう蒸し」が選ばれました。また、入賞作品は第一食堂で期間限定メ



昨年の「第1回 高校生アイデアどんぶり選手権」実技審査風景

ニューとして登場する予定です。昨年は「おろしてさっぱりがっつり丼」と、「カラフル!ベジたけ丼」を提供し、彩りが鮮やかで斬新なメニューが大好評でした。

「第2回 高校生アイデアどんぶり選手権」



最優秀賞 かきあげ丼、タコのしんじょう蒸し
の模様は生命栄養科学科のホームページでご覧いただけます。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/life/nutrition/>

生命栄養科学科 教授 木村 安美

学友会短信

【サッカー部】

- 前期4月22日～7月15日・後期9月16日～11月11日 2012年度中国大学サッカーリーグI部出場
- 6月6日 全日本大学選抜「東ティモール・シンガポール遠征/パレンシア遠征」選考会 招集選手 加藤紘将(経済3年), 藤堂拓真(経済3年), 峯恭平(経済2年)
- 6月24日～8月26日 2012年度全広島サッカー選手権決勝大会出場

【陸上競技部】

- 5月18日～20日 第66回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 10000mW1位廣藤耕一(経済3年)大会新記録, 7位清家将徳(経済1年), 8位森永悟史(生命栄養3年)入賞
- 6月22日～24日 2012日本学生陸上競技個人選手権大会 10000mW10位廣藤耕一(経済3年)

【硬式野球部】

- 4月7日～5月28日 平成24年度中国六大学野球春季リーグ戦出場第3位 ベストナイン受賞 二塁手 木村真澄(経済2年), 三塁手 城森友希(経済4年), 外野手 國近幹司(経済4年), 指名打者 池村裕太郎(経済4年)
- 6月29日～7月1日 第26回中国地区大学野球新人戦出場

【剣道部】

- 5月20日 第59回中四国学生剣道選手権大会出場
- 5月26日～27日 第57回西日本学生剣道大会出場

【柔道部】

- 5月19日～20日 平成24年度中国四国学生柔道優勝大会出場

【弓道部】

- 5月20日 ばら祭協賛 第33回福山市近県弓道大会出場5位入賞亀川裕生(生物1年)
- 5月24日～27日 第56回西日本学生弓道選手権大会出場

【男子バーレーボール部】

- 4月28日～29日 2012年度中国大学バーレーボールリーグ戦春季大会出場
- 5月26日～28日 第56回中国四国学生バーレーボール選手権大会出場

【実戦空手道部】

- 4月22日 第34回全日本北道院オープン選手権大会出場 ベスト8地頭優樹(海洋3年)

【軟式野球部】

- 6月11日～16日 平成24年度西日本地区学生軟式野球春季II部リーグ戦出場

【卓球部】

- 5月18日～20日 第63回中国学生卓球選手権春季大会 男子団体, 女子団体出場

【硬式庭球部】

- 6月16日～19日 平成24年度春季中国四国学生テニス選手権大会出場

【ゴルフ部】

- 5月8日・6月8日 第36回中四国学生ゴルフ選手権予選会出場

【バスケットボール部】

- 4月14日～7月29日 2012年度広島県バスケットボール交流戦春季リーグ戦出場

【ボート部】

- 6月17日 第67回国民体育大会ボート競技広島県予選会出場 大江羅夢(経済1年・広島選抜)成年女子シングルスカル1位, 舵手つきクオドルブル1位, 大北紀也(経済1年・福山R C)成年男子ダブルスカル2位

【自転車部】

- 5月20日 平成24年度広島県サイクル

ロードレース大会出場 5位京樂太伸(心理1年・Esperance Stage 我達人所属), 15位川口貴大(情報2年・チームケンズ所属)

- 6月10日 第47回中国地域自転車道路競走大会出場 広島A(京樂太伸所属)団体優勝, 京樂太伸個人6位入賞により来年開催の全日本自転車競技選手権大会出場権獲得

【YRC(ボランティア)部】

- 每月清掃活動 クリーンウォーキングin福山・松永・芦田川

- 4月28日 第69回尾道みなど祭協力

- 5月19日 第45回福山ばら祭参加

【ダンス部チアダンスチーム】

- 4月22日 第9回びんごちゅーぱー祭出演

- 5月13日 JFE西日本フェスタinふくやま出演

【モノづくり教育研究会】

- 6月10日 モノづくり教室開催(福山市立済美中学校)

【学友会執行部】

- 5月15日 平成24年度春季学長杯争奪競技大会開催 雨天のためソフトボールの部中止, バスケットボール(3on3)の部実施1位バスケ王, 2位決明子, 3位アトラクト

- 6月10日 第3回福山大学フィッシング大会開催 優勝品川憲良(海洋2年), 2位横本翔(建建3年), 3位奥谷健太(海洋2年)

- 6月22日 春季学内献血実施, 24年度前期成分献血(5/28～7/24)への協力

- 6月23日 平成24年度福山大学文化創造プロジェクト「文創祭」開催 学友会執行部, 華道部, 管弦楽団, 茶道部, 三蔵太鼓を打つ会, 書道同好会, 吹奏楽部, 生命工学研究会, ダンス部(ストリート, チアダンス), 調理同好会, 美術部, YRC(ボランティア)部, 電子・ロボット工学科が参加・出演

(学務部 学生課)

学友会 春季学長杯争奪競技大会(FUS)

開学記念日(平成24年5月15日)に開催された恒例の春季学長杯争奪競技大会には、学生・教職員140名が参加しました。当日は雨天のため、ソフトボールの部が中止となりましたが、昨年度リニューアルされた体育館では、バスケットボール(3 on 3)の白熱した試合が行われました。参加者は、怪我、事故等無く一日爽やかな汗を流し、親睦を深めることができました。次回、秋季FUSにもたくさんの方々の参加をお待ちしております。

学友会 海洋生物科学科
2年 堀之内 依莉

学友会 第3回フィッシング大会

学友会執行部, 海洋生物研究会主催「第3回フィッシング大会」を平成24年6月10日(日)因島にて開催しました。今回は、学生・教職員32名が参加し、本学生命工学部附属内海生物資源研究所(マリンバイオセンター)での見学後、瀬戸内海の海辺で親睦を深めながらそれぞれの釣りの腕前を競いました。大漁では無かったものの、鯛、キス、アイナメ、クサフグ等を釣り上げ、瀬戸内海で珍しい魚を基準にポイントをつけ、上位3位の入賞者を決定しました。大会終了後は、「立つ鳥後をにござす」の気持ちで、全員で海辺の清掃を行いました。



行い、怪我なく無事に終了しました。

これも菊田学生委員長をはじめ海洋生物研究会顧問水上助教、学生課職員等多くの方々の協力でできたものだと思います。これからもさまざまな楽しい行事を企画・実行していくうと思っていますのでご協力お願いします。

学友会 建築・建設学科

2年 亀田 仁志

学友会「文化創造プロジェクト 文創祭～輝け!!未来のクリエイター～」

平成24年6月23日(土)福山大学宮地茂記念館にて「福山大学 文化創造プロジェクト 文創祭～輝け!!未来のクリエイター～」を開催しました。このプロジェクトは本学学友会文化系クラブ・サークルや学部学科(電子・ロボット工学科)の活動紹介を目的として、地域住民の方々や中高大学生へ文化を発信する学友会の初企画です。当日は約100名の学生が参加し、約70名の来場者の方々に美術作品展示、ダンス披露、三蔵太鼓の演奏等とともに茶会、書道、楽器演奏、ロボット操作



地域の方々との連携を築きながら頑張っていきたいと思います。来場者の皆様、運営に携わっていただいた方々に厚くお礼申し上げます。

学友会 海洋生物科学科3年 花岡 誠



国際交流瓦版

◎上海師範大学(中国)と本学との学術・教育に関する交流協定書の締結期日が2017年3月末まで更改延長。

◎カリフォルニア大学リバーサイド校(米国)から半年～1年間の留学を終えて、松田文子学長、富士彰夫副学長へ経済学部4年の松岡剛志さん、村上加奈さん、渡部主喜さんが帰国報告。



(4月1日)

◎平成24年度入学式において、新入生(留学生)が学部生19名、大学院生10名入学、協定校から16名が編入。在籍留学生は5ヶ国(中国、大韓民国、ケニア、フィリピン、ベトナム)、173名(学部生160名、大学院生13名)。

(4月3日)

◎中国、協定校、天津科技大学及び四川外語学院成都学院からの交換留学生5名が学長表敬訪問。流暢な日本語で自己紹介。



(4月4日)

◎対外經濟貿易大学(中国、協定校)から楊逢華副学長はじめ計6名の友好団が来学し、校友会の在り方を含め、今後の両大学間の交流について協議。



(4月12日)

◎天津科技大学と本学との学術・教育に関する交流協定書の締結期日が2017年4月19日まで更改延長。

(4月20日)

◎本学留学生総会で平成24年度留学生会役員を選出。姜力瑛さん(経済学部3年 中国出身)が会長、宋晨陽さん(経済学部2年 中国出身)ならびに、王洋さん(人間文化学部1年 中国出身)が副会長に留学生会新役員決定。

(4月24日)

◎貴州師範大学(中国、協定校)から伍鵬程学長をはじめ計3名が来学。大学会館貴賓室にて両大学間学術・教育協定書更改の調印式挙行。この度の調印により、両大学間学術・教育協定書の締結更改期日は2016年10月23日まで延長。



貴州師範大学との学術・教育協定の調印式後の昼餐

会では、清水理事長、両大学長等による両大学間学術教育交流促進のための活発な意見交換。



◎平成24年度熊平奨学生文化財団奨学生交流会に、張潤蘇さん(人間文化学部4年 中国出身)が本学の奨学生として山代宏道国際センター副センター長と共に出席。

(5月30日)

◎広島県留学生会総会及び国際親善スポーツ大会が広島修道大学で開催。総会において、本学留学生会会長の姜力瑛さん(経済学部3年 中国出身)を広島県留学生会副会長として信任。



◎広島県留学生会国際親善スポーツ大会においては、本学からバスケットボール種目で2チーム出場し、惜しくも3位。



(6月2日)

◎本学留学生会主催の新入生歓迎会を青島で開催。新入生を囲んで、学長、関係教職員、在学生と和やかに交流し、談笑。



(5月11日)

◎Muthoni Eric Muneneさん(経済学部 4年 ケニア出身)が第14回服部元氣コム「地域の茶の間」の講師として福山市駅家服部コミュニティ館において母国事情やアフリカの民族太鼓等、多文化交流。



(5月24日)

◎天津科技大学(中国、協定校)から、夏慧言外国語学院長ら2名が来学され、学長への表敬訪問の後、副学長・国際センター長ならびに経済学部長、人間文化学部長、工学部長等を交えて、今後の両大学間における学部間の学術教育交流について協議。



(5月25日)

◎新入留学生・編入生ならびに交換留学生達のための広島地域視察ツアーを国際センター留学生部運営委員会が主催。留学生が広島周辺地域の文化や歴史への理解を深めるために、ボランティア日本人学生とともに世界遺産の平和公園(原爆資料館)や宮島を視察。



(6月9日)

◎平成24年度私費外国人留学生学習奨励費給付制度による本学の沈喬さん(経済学研究科 2年 中国出身)ら奨学生計11名(学部生9名、大学院2名)の採用決定。

(6月11日)

◎平成24年度ひろしま国際センター奨学生に、本学の朴聖雨さん(経済学部3年 大韓民国出身)ら5名(学部生4名、大学院1名、研究生1名)の採用決定。

(6月16日)

◎広島県留学生活支援センター主催、平成24年度就職活動入門セミナーが福山市参画センターで開催され、本学から8名の留学生が参加。

本学卒業生の朱蕊蕊さん(平成23年度工学研究科修了、グリーンツール(株)勤務、中国出身)が体験発表。

(6月24日)

(学務部 国際交流課)

学内人事

【名誉教授称号授与】

前 人間文化学部 教授	丹藤 浩二
前 人間文化学部 教授	久保 卓哉
前 工学部 教授	安藤 詔生
前 工学部 教授	中山 昭夫
前 薬学部 教授	小野 行雄
前 薬学部 教授	五郎丸 毅
	(以上 4月 1日付)

【役職関係】

◎就任

経済学部長	入谷 純
工学研究科長	占部 逸正
経済学部長補佐	平田 宏二
経済学科長	平田 宏二
国際経済学科長	尾田 温俊
税務会計学科長	桑原 哲也
人間文化学科長	青木 美保
心理学科長	堤 俊彦
メディア情報文化学科長	田中 始男
電子・ロボット工学科長	香川 直己
建築・建設学科長	大島 秀明
情報工学科長	尾関 孝史
機械システム工学科長	野西 利次
生物工学科長	山本 覚
生命栄養科学科長	渕上 優子
海洋生物科学科長	河原栄二郎
薬学科長	森田 哲生
大学教育センター副センター長	鶴田 泰人
大学教育センター副センター長	坂口 勝次
大学教育センター副センター長	山本 覚
大学教育センター副センター長	倉掛 昌裕
大学教育センター副センター長	布施 守雄
大学教育センター副センター長	菊田 安至
グリーンサイエンス研究センター長	岩本 博行
就職委員長	三谷 康夫
就職副委員長	小林 正和
就職副委員長	廣瀬 順造
キャリア形成支援委員長	布施 守雄
教務副委員長	坂口 勝次
教職課程委員長	倉掛 昌裕
大学入試センター試験実施副委員長	原 千史
ハラスマント対応委員長	渡邊 誠
学術研究倫理審査委員長	日比野 俐
	(以上 4月 1日付)

◎退任

経済学部長	掛江 正造
工学研究科長	清水 光
経済学部長補佐	桑原 哲也
経済学科主任	平田 宏二
国際経済学科主任	尾田 温俊
税務会計学科主任	泉 潤慈
人間文化学科主任	青木 美保
心理学科主任	堤 俊彦
メディア情報文化学科主任	三宅正太郎
電子・ロボット工学科主任	香川 直己
建築・建設学科主任	宮地 功
情報工学科主任	尾関 孝史
機械システム工学科主任	野西 利次
生物工学科主任	山本 覚
海洋生物科学科主任	河原栄二郎
薬学科主任	森田 哲生
キャリア形成支援センター長	西原 晃
学生副委員長	坂本 和丈
大学入試センター試験実施副委員長	栗延俊太郎
広報副委員長	田中 始男
	(以上 3月31日付)

【教員】

◎定年退職

人間文化学部 教授	久保 卓哉
生命工学部 教授	藤田泰太郎
薬学部 教授	西尾 廣昭

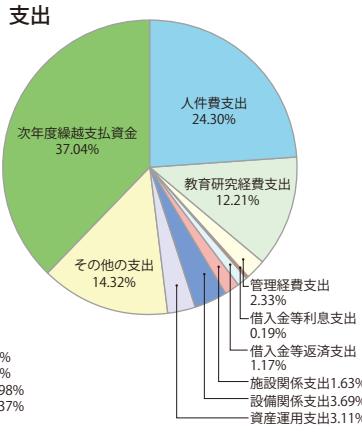
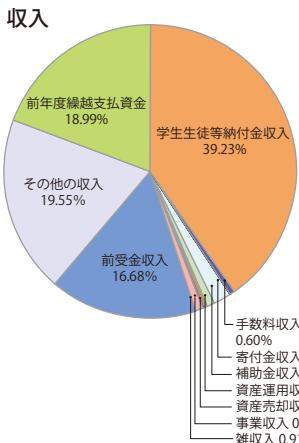
薬学部 教授	松井 隆司	大学教育センター 講師	山口 昌宏	薬学部事務長	徳永 充孝
	(以上 3月31日付)	大学教育センター 講師	Janice R.Brabec	就職課長	千葉 秀俊
◎辞職		大学教育センター 講師	Jeffrey J.Nazzaro	企画・文書課長	杉本 直
経済学部 講師	久松 太郎	国際センター 講師	趙 建紅	用度課長	林 孝彌
人間文化学部 准教授	三宅 幹子		(以上 4月 1日付)	(兼)学校法人福山大学総務部財務担当	(兼)学校法人福山大学総務部経理担当
人間文化学部 講師	飯田 豊	◎再採用		経理課長	近藤 正之
薬学部 助手	渡邊 春美	生命工学部 教授	藤田泰太郎	施設課長	矢野 幸一
薬学部 助手	廣田 裕子	薬学部 教授	西尾 廣昭	(兼)学校法人福山大学総務部施設担当	(兼)学校法人福山大学総務部事務長
薬学部 助手	倉本 大輔		(以上 4月 1日付)	工学部・生命工学部事務長	斜森 琢也
薬学部 助手	井上 真一	◎客員教授		教務課長	奥村 健一
	(以上 3月31日付)	経済学部	田中 秀征	経済学部・人間文化学部 事務係長	花崎 博史
◎任期満了		経済学部	大久保 黽	薬学部 事務係長	岡田 祐侍
人間文化学部 教授	丹藤 浩二	人間文化学部	三浦 省五	教務課 教務係長	高橋 千穂
工学部 教授	安藤 詔生	人間文化学部	水越 敏行	教務課 教育企画係長	池本 大作
工学部 教授	中山 昭夫	人間文化学部	藤森 益弘	就職課 就職係係長	楠見 宣昭
工学部 准教授	小野 泰	人間文化学部	宮地 克昌	薬学部 事務主任	大迫 博美
薬学部 教授	小野 行雄	工学部	横井 一仁	学生課 学生主任	佐藤 理惠
薬学部 教授	五郎丸 毅	工学部	高橋 智隆		(以上 4月 1日付)
	(以上 3月31日付)	工学部	溝上 浩司	◎配置換	
◎昇任		工学部	南 宏一	用度課長	萩原 善則
経済学部 准教授	石丸 敬二	工学部	鎌田 輝男	(兼)学校法人福山大学総務課長	(兼)学校法人福山大学学務課
人間文化学部 准教授	渡辺 浩司	工学部	古江 嘉弘	(薬学部)	
工学部 教授	木村 純壯	工学部	中山 昭夫	教務課長	武田 貢一
工学部 講師	藤原 美樹	工学部	上野谷 実	庶務課事務職員	門利有樹子
生命工学部 教授	木村 安美	生命工学部	谷口 順彦	(秘書室)	
生命工学部 准教授	阪本 憲司	生命工学部	宮崎 信之		(以上 4月 1日付)
薬学部 准教授	五郎丸 剛	薬学部	松井 隆司	就職課専門員	藤原 紀子
薬学部 講師	土谷 大樹	薬学部	村上 信行	(教務課)	
	(以上 4月 1日付)		太刀掛 稔		(5月 1日付)
◎配置換(助手→助教)		大学教育センター	丹藤 浩二	◎免兼任	
人間文化学部 助教	野津山 希	大学教育センター	橋本 裕之		
薬学部 助教	堤 広之		(以上 4月 1日付)	◎定期退職	
	(以上 4月 1日付)	◎客員教員(教授待遇)			
◎配置換		経済学部	賈 保華		
			(4月 1日付)	◎客員研究員	
大学教育センター 准教授	小野 太幹	構造・材料開発研究センター	井上 達雄		
(福山平成大学福祉健康学部)			(4月 1日付)		
大学教育センター 助手	日暮 美紀	◎北京教育研究センター	顧問 佐藤 利行		
(工学部)			(4月 1日付)		
	(以上 4月 1日付)	◎学校法人福山大学宮地茂記念館長	尾島 勝		
◎兼任			(4月 1日付)	【職員】	
大学教育センター 教授	川地 洋一	◎定期退職			
大学教育センター 教授	岡 晃弘	入試広報室参事	島田 歓二		
大学教育センター 教授	坂口 勝次	入試広報室参事	前原 幸三		
大学教育センター 准教授	中村 博	生命工学部附属内海生物資源研究所	岡 英雄		
大学教育センター 講師	瀬島 紀夫	技術職員	(以上 3月31日付)		
国際センター 教授	山代 宏道			◎任期満了	
生命工学部附属内海生物資源研究所	准教授 阪本 憲司	◎併任			
	(以上 4月 1日付)	人間文化学部 教授	市瀬 信子		
◎併任			(4月 1日付)		
人間文化学部 教授	市瀬 信子	◎免兼任			
	(以上 4月 1日付)	キャリア形成支援センター	准教授 中村 博		
◎免兼任			(3月31日付)		
キャリア形成支援センター	准教授 中村 博	◎採用			
		経済学部 教授	入谷 純		
◎採用		経済学部 教授	李 森	学校法人福山大学 参与 大谷 巍	
		経済学部 教授	古島 義雄	(兼)福山大学 参与	
経済学部 准教授	相原 正道	経済学部 教授	岡 英雄	学校法人福山大学 参与 遠見 芳夫	
経済学部 講師	岡谷 良二	経済学部 講師	寺尾 信吾	(兼)福山大学 参与	
人間文化学部 教授	日野恵美子	人間文化学部 教授	石田 寛	入試広報室 参事 島田 歓二	
人間文化学部 助教	山代 宏道	人間文化学部 助教	(兼)福山大学 参与	(兼)学校法人福山大学入試広報室 参事	
人間文化学部 助教	川人 潤子	人間文化学部 助教		入試広報室 参事 前原 幸三	
生命工学部 教授	阿部 純	生命工学部 教授		(兼)学校法人福山大学入試広報室 参事	
生命工学部 助教	渕上 優子	生命工学部 助教		入試広報室 参事 間東 啓	
生命工学部 准教授	高橋知佐子	生命工学部 助教		(兼)学校法人福山大学入試広報室 参事	
生命工学部 助手	西山 裕子	生命工学部 助手		秘書室事務職員 松本 純佳	
薬学部 助手	山田 千明	薬学部 助手		(兼)学校法人福山大学秘書室事務職員	
薬学部 助手	岩野 美帆	薬学部 助手		工学部・生命工学部事務職員 岡本 明展	
薬学部 助手	井手 法慧	薬学部 助手		国際交流課事務職員 神原 葉月	
薬学部 助手	近藤よしの	薬学部 助手		秘書室主管(事務嘱託員) 森迫 哲子	
大学教育センター 教授	荒木 紀幸	大学教育センター 教授		(兼)学校法人福山大学秘書室主管	
				総務部長(事務嘱託員) 栗柄 良光	
				社会連携センター事務室長(事務嘱託員) 光波祥二郎	
				(兼)社会連携センター 参事	
				(兼)学校法人福山大学宮地茂記念館事務室長	
				(兼)学校法人福山大学宮地茂記念館 参事	
				(以上 4月 1日付)	
◎再採用		生命工学部附属内海生物資源研究所		◎再採用	
		技術職員		生命工学部附属内海生物資源研究所	
		(兼)事務係長		技術職員 岡 英雄	
				(4月 1日付)	

平成23年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位 円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,335,158,140
手数料収入	81,289,480
寄付金収入	9,203,500
補助金収入	298,470,894
資産運用収入	132,717,232
資産売却収入	50,000,000
事業収入	60,222,453
雑収入	123,859,745
前受金収入	2,268,352,990
その他の収入	2,658,419,834
資金収入調整勘定	△ 2,458,299,237
前年度繰越支払資金	5,041,788,357
収入の部合計	13,601,183,388

支出の部	
科目	金額
人件費支出	3,305,304,389
教育研究経費支出	1,661,124,880
管理経費支出	316,514,651
借入金等利息支出	25,881,974
借入金等返済支出	159,550,000
施設関係支出	222,040,863
設備関係支出	502,301,741
資産運用支出	423,050,165
その他の支出	1,947,161,261
資金支出調整勘定	△ 99,870,581
次年度繰越支払資金	5,138,124,045
支出の部合計	13,601,183,388



消費収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金収入	授業料収入	各種講座料等を含む
	実験実習料収入	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料収入	入学検定料収入	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料収入	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料収入	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金収入	特別寄付金収入	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金収入	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資金運用収入	受取利息・配当金収入	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
前受金収入	授業料前受金収入	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入
	補助活動前受金収入	翌年度の学生寮の寮費収入
その他の収入	前期未収入金収入	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費支出	教員人件費支出	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費支出	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費支出	奨学費支出	奨学生の奨学生
施設関係支出	構築物支出	庭園等の土木設備又は工作物をいう。

消費収支計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位 円)

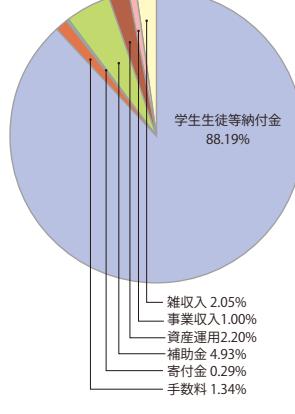
収入の部

科目	金額
学生生徒等納付金	5,335,158,140
手数料	81,289,480
寄付金	17,343,289
補助金	298,470,894
資産運用収入	132,913,010
事業収入	60,222,453
雑収入	123,859,745
帰属収入合計	6,049,257,011
消費収入の部合計	5,527,709,238

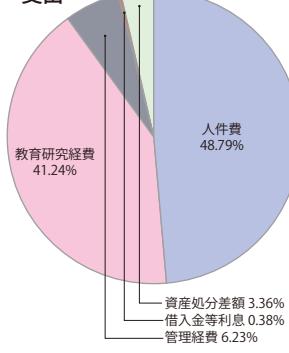
支出の部

科目	金額
人件費	3,280,379,990
教育研究経費	2,772,784,134
管理経費	418,698,850
借入金等利息	25,881,974
資産処分差額	226,050,870
消費支出の部合計	6,723,795,818
当年度消費収支差額	△ 1,196,086,580

収入



支出



消費収支計算書

消費収支計算書は、該当年度に帰属する収入から、基本金として支出した金額を控除した消費収入と人件費や教育研究経費などの消費支出を対比し、その均衡状況を示すとともに学校法人の経営状況を明らかにするものとされています。企業会計の損益計算書に近いものですが、損益計算書では計上対象となる資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が異なります。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金	授業料	各種講座聴講料等を含む
	実験実習料	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料	入学検定料	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金	特別寄付金	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金	国庫補助金	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資金運用	受取利息・配当金	預金利息、債券の利金
事業	補助活動	学生寮の寮費収入
	受託事業	受託研究料
前受金	授業料前受金	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入
	補助活動前受金	翌年度の学生寮の寮費収入
その他の収入	前期未収入金	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費	教員人件費	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費	奨学費	奨学生の奨学生
	減価償却費	教育研究用減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
管理経費	減価償却費	教育研究用減価償却資産以外の減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
資産処分差額		資産の帳簿残高が当該資産の売却収入額を超える場合のその超過額をいい、除却損または評価損含む。

貸借対照表 (平成24年3月31日)

(単位 円)

資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	61,575,732,934	負債の部	
有形固定資産	30,791,953,022	固定負債	2,507,957,612
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	945,690,000
うち建物	15,278,130,003	うち退職引当金	1,542,196,106
うち構築物	1,060,466,393	うち長期末払金	20,071,506
うち教育研究機器備品	3,101,109,453	流動負債	2,584,776,020
うちその他の機器備品	17,217,925	うち短期借入金	159,550,000
うち図書	4,433,144,274	うち未払金	76,106,413
うち車両他	14,876,480	うち前受金	2,268,352,990
うち預り金	80,766,617	うち預り金	80,766,617
負債の部合計	5,092,733,632	負債の部合計	5,092,733,632
基本金の部		消費収支差額の部	
第1号基本金	48,267,521,184	翌年度繰越収入超過額	13,231,338,775
第4号基本金	407,000,000	負債の部、基本金の部及び	
基本金の部合計	48,674,521,184	消費収支差額の部合計	66,998,593,591
消費収支差額の部		負債の部合計	66,998,593,591
翌年度繰越収入超過額	13,231,338,775	負債の部合計	66,998,593,591
負債の部、基本金の部及び		消費収支差額の部合計	66,998,593,591
消費収支差額の部合計	66,998,593,591	負債の部合計	66,998,593,591

貸借対照表

科目説明(科目は抜粋)

資産の部

大科目	中項目	小科目	備考
固定資産	有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用される資産をいう。耐用年数が	
			1年未満になっているものであっても使用中のものを含む。
	建物	建物に附属する電気、給排水、暖房等の設備を含む。	
	構築物	庭園等の土木設備又は工作物をいう。	
	教育研究用機器備品	標本及び模型を含む。	
その他の固定資産	電話加入権	加入電話等の設備負担金額をいう。	
流动資産	未収入金	学生生徒等納付金、補助金などの貸借対照表日における	
		未収入額をいう。	
	有価証券	一時的に保有する有価証券をいう。	

科目説明(科目は抜粋)

負債の部

大科目	小科目	備考
固定負債	長期借入金	その期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものをいう。
	退職給与引当金	退職給与規程等による計算に基づく退職給与引当額をいう。
流动負債	短期借入金	その期限が貸借対照表日後1年内に到来するものをいう。
	預り金	教職員の源泉所得税、共済掛金等の預り金をいう。

財産目録 (平成24年3月31日)

(単位 円)

I 資産	66,998,593,591
1. 固定資産	61,575,732,934
土地	大学敷地他 337,887m ² 6,885,223,494
建物	大学校舎他 145,782m ² 15,278,130,003
構築物	道路舗装外 1,060,466,393
教育研究用機器備品	パソコン他 3,101,109,453
その他の機器備品	学生寮厨房機器他 17,217,925
図書	4,433,144,274
車両	14,876,380
船舶	100
建設仮勘定	1,785,000
電話加入権	3,048,426
施設利用権	600
保証金	33,510,650
敷金	288,000
退職給与引当特定資産	1,542,016,830
減価償却引当特定資産	14,771,208,385
校舎建設等引当特定資産	8,321,102,056
創設準備引当特定資産	6,112,604,965
2. 流動資産	5,422,860,657
現金・預金	5,138,124,045
未収入金	163,535,687
貯蔵品	8,500,000
有価証券	81,221,685
前払金	31,479,240
II 負債	5,092,733,632
1. 固定負債	2,507,957,612
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団 945,690,000
退職給与引当金	1,542,196,106
長期末払金	20,071,506
2. 流動負債	2,584,776,020
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団 159,550,000
未払金	76,106,413
前受金	2,268,352,990
預り金	80,766,617
III 正味財産 (I - II)	61905,859,959

監査報告書

平成24年5月14日

学校法人 福山大学

理事長 清水 幸実 殿
評議員会議長 殿

学校法人 福山大学

監事 安保 昇 殿
監事 村上 愛二 殿

私たちには、学校法人福山大学の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同法人の平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書)を含め、学校法人の業務及び財務に関する監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財務に関する不正の行為又は法令若しくは規則行為に違反する重大な事実がないことを認めました。

以上

平成25年度 入学試験の概要

平成25年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度です。同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学の卒業生又は在学生(留学生は除く)です。この他、指定校入学試験を実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせ下さい。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験(第1期)	(エントリーシート提出期間) 平成24年8月1日(水) ～8月8日(水)	平成24年9月4日(火)	平成24年9月6日(木)
A O 入学試験(第2期)	(エントリーシート提出期間) 平成24年8月29日(水) ～9月5日(水)	平成24年9月29日(土)	平成24年10月2日(火)
推薦入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成24年10月13日(土) ～11月1日(木)(消印有効)	平成24年11月7日(水) 平成24年11月8日(木)	平成24年11月13日(火)
推薦入学試験(B日程)	平成24年11月24日(土) ～12月4日(火)(消印有効)	平成24年12月8日(土)	平成24年12月12日(水)
前期入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成25年1月5日(土) ～1月25日(金)(消印有効)	平成25年1月31日(木) 平成25年2月1日(金) 平成25年2月2日(土) 平成25年2月3日(日)	平成25年2月8日(金)
前期入学試験(B日程)	平成25年2月4日(月) ～2月18日(月)(消印有効)	平成25年2月22日(金)	平成25年2月26日(火)
後期入学試験	平成25年2月27日(水) ～3月9日(土)(消印有効)	平成25年3月14日(木)	平成25年3月18日(月)
センター試験利用入学試験 (前期日程)	平成25年1月5日(土) ～1月25日(金)(消印有効)	個別学力試験は課さない	平成25年2月8日(金)
センター試験利用入学試験 (後期日程)	平成25年2月27日(水) ～3月9日(土)(必着)	個別学力試験は課さない	平成25年3月18日(月)

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

- AO入試(第1期・第2期) 【福山(学校法人福山大学宮地茂記念館)】(福山駅北口正面)
- 推薦入試(A日程) 【11/7・11/8 福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・那覇】
【11/7 鳥取・徳島・高知・大阪】【11/8 松江・高松・松山・神戸・山口】
- 推薦入試(B日程) 【福山(福山大学)・広島・山口・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】
- 前期入試(A日程) 【1/31～2/3 福山(福山大学)・広島・山口・福岡・岡山】
【1/31 鳥取・宮崎・京都・佐賀】【2/1 米子・大分・浜田】【2/2 静岡】
【2/3 熊本・神戸・名古屋】【1/31・2/1 松山・高知・東京】
【2/2・2/3 今治・松江・高松・小倉】【2/1・2/2 大阪・鹿児島】
- 前期入試(B日程) 【福山(福山大学)・広島・岡山】
- 後期入試 【福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記

新年度が始まって3ヶ月が過ぎました。学報133号では、就職状況と新生入合宿オリエンテーションの特集を組みました。就職では、“超氷河期”ともいわれる現在の厳しい社会状況の中で、昨年度卒業した学生がどのように頑張ったのかを、進路状況に関するデータと共に掲載しました。是非、今年度の就職活動の参考にして欲しいと思います。新生入合宿オリエンテーションでは、思わず“頑張れ!”と声を掛けたくなるような1年生の率直な気持ちが綴られています。研究活動、地域連携活動など各学部学科のさまざまな活動や取り組みも掲載されており、活き活きとした福山大学の様子がよく分かる誌面になりました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213